

(令和2年3月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>3月の総入荷量は、前年と同様に暖冬の影響により潤沢な入荷となったため前年同月並みであった。総取扱金額は、前月に続き新型コロナウイルスの影響により業務需要が低迷したものの、家庭内需要が高まったため4%上回った。</p> <p>4月は、近郷野菜ではたけのこ及び木の芽が最盛期を迎え、きゅうりやとまと等の果菜類の入荷が増える。果実では、かんきつ類では不知火(デコポン)が終盤となり、清美オレンジや甘夏かんは最盛期を迎え、いちご類は減少傾向となる。また、びわ、桜桃、マンゴー、すいか等の入荷が始まる。</p> <p>3月中旬に冷え込みがあったものの、概ね良好な天候のもと生育は順調に進み、安定した入荷が見込まれる。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は多くの品目で需要が高かったため5%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は多くの品目で需要が高かったため17%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は多くの品目で需要が高かったため23%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は多くの品目で需要が高かったため4%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価はたまねぎが単価安で推移したため4%下回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は5%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は13%上回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は11%下回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は天候不順により下位等階級中心となったため48%下回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】</p> <p>長だいこん</p> <p>西洋にんじん</p>	<p>長崎，鹿児島，滋賀，徳島，神奈川を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で6%下回り，単価は12%上回った。</p> <p>徳島を中心に鹿児島，愛知，長崎などからも入荷した。入荷量は需要の高まりに応じて前年同月比で28%上回ったが，単価は需要が高かったため61%上回った。</p>
<p>【葉菜類】</p> <p>はくさい</p> <p>キャベツ</p> <p>ほうれんそう</p> <p>レタス</p>	<p>長崎を中心に兵庫，鹿児島，熊本，滋賀などからも入荷した。入荷量は暖冬の影響により生育が進んだため前年同月比で8%上回ったが，単価は需要が高かったため74%上回った。</p> <p>愛知を中心に兵庫，滋賀，鹿児島，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が高かったため67%上回った。</p> <p>福岡，京都を中心に茨城，滋賀などからも入荷した。入荷量は暖冬の影響により生育が進んだため前年同月比で7%上回ったが，単価は需要が高かったため20%上回った。</p> <p>兵庫，長崎を中心に徳島，茨城，岡山などからも入荷した。入荷量は暖冬の影響により生育が進んだため前年同月比で6%上回ったが，単価は需要が高かったため15%上回った。</p>
<p>【果菜類】</p> <p>きゅうり</p>	<p>宮崎，高知を中心に滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が高かったため6%上回った。</p>

なす	岡山，高知，熊本，福岡を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で5%下回り，単価は8%上回った。
とまと	熊本，福岡を中心に関東などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り，単価は12%上回った。
ピーマン	宮崎，高知を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り，単価は14%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	鹿児島を中心に関東からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は中旬以降の高騰により17%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に関東，長崎からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は北海道産が安値で推移したため28%下回った。
【その他野菜】	
生しいたけ	岡山，三重を中心に関西，徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は3%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山から入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が高かったため8%上回った。
伊予かん	愛媛、和歌山から入荷した。入荷量は産地在庫が潤沢であったため前年同月比で28%上回ったが、単価は前年同月並みであった。
はっさく	和歌山、広島から入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
不知火（デコポン）	和歌山、愛媛、福岡、佐賀から入荷した。入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は10%上回った。
サン富士	青森から入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が高かったため21%上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は11%下回った。
アールスメロン	静岡、高知から入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は天候不順により下位等階級中心となったため48%下回った。